

PROFILE



Yusuke Yano

矢野 裕典

医師

洛和会ヘルスケアシステム 理事長
医療法人社団洛和会 理事長
社会福祉法人洛和福祉会 理事長
学校法人洛和学園 理事長
一般財団法人洛和まちづくり財団 理事長
らくの助ファーム 代表
地域医療連携推進法人 Just2Ys League 理事
NPO法人VHJ機構 常任理事
京都私立病院協会 理事

1981年 京都市下京区生まれ。ノートルダム学院小学校/西大和学園中学/高等学校を経て、帝京大学医学部に進学。医療、介護の現場で働いた後、2019年、洛和会ヘルスケアシステム副理事長になる。2022年、父の後を継いで洛和会ヘルスケアシステム理事長に就任。YouTubeをはじめとするSNSで経営トップ自ら発信する広報活動が評価され、病院広報アワード2024において初代経営者部門大賞を受賞する。趣味は読書。

- 1981** 矢野家の長男として生まれる。実家は祖父が開設した「矢野医院」という診療所の4階だった。小学生の頃、祇園祭の山鉾巡行には欠かせない「お稚児」の大役を経験する。
- 1994** 奈良の進学校として知られる西大和学園中学校に入学。学校の敷地内にある「青寮家」という寮での生活が始まる。バスケットボール部、柔道部に所属。成績不振が原因で、中学3年生の頃に不登校がきっかけにひきこもりを経験する。父から買ってもらった「ウィンドウズ95」を使って、インターネットの世界に没頭するようになる。
- 1998** 西大和学園高等学校に編入。バンド活動に熱中する。高校2年生で生徒会長になる。読書が好きで、作家の中谷彰宏氏やワタミ株式会社創業者の渡邊美樹氏などが書いた本を読みふける。医療グループ徳洲会創設者の徳田虎雄氏の生き方に影響を受ける。祖父、父の背中を追って医師になることを決意し、医学部受験を志す。
- 2001** 帝京大学医学部医学科に入学。東京での一人暮らしをスタートさせるが、成績不振もあって順風満帆とはいからず、卒業まで13年を要する。在学中に、当時、奈良選出の国会議員だった田野瀬良太郎氏の事務所でインターンを経験する。
- 2014** 医師国家試験に挑戦するも不合格。3年の国試浪人を経て、4度目の挑戦で第111回「医師国家試験」に合格する。
- 2017** 帝京大学医学部付属病院溝口病院に入職。翌年、介護の現場を勉強するため「特別養護老人ホーム四天王寺たまつくり苑」に入職する。
- 2019** 父から「病院に戻ってこい」と言われ洛和会ヘルスケアシステム副理事として入職。新型コロナウイルス感染症対応に奔走する。また医療業界の日常的な人材不足を解消するため、「福利厚生日本一の病院」を目指し、副業・兼業の全面解禁、同性パートナーシップの導入など働き方改革に着手する。
- 2022** 洛和会ヘルスケアシステム 理事長に就任する。コロナの経験を踏まえ地域医療と共に、本格的な街づくりに貢献することを決意する。
- 2024** **街地医療と街づくり** に取り組む元ひきこもり理事長の「京都発！日本の医療が変わる」経営哲学『元ひきこもり理事長の病院経営術』を出版。YouTubeをはじめとするSNSで経営トップ自ら発信する広報活動が評価され、病院広報アワード2024において初代経営者部門大賞を受賞する。

